

総合防災アプリ「静岡県防災」の機能拡張・活用 による避難所感染防止対策

静岡県危機管理部

1 概要

静岡県総合防災アプリ『静岡県防災』に、新たに避難所感染防止対策機能を搭載し、新型コロナウイルス感染症の蔓延に対する警戒が続く状況下において、「非接触型による新しい形での避難所運営」を可能にする。

2 問題の所在

従来型の避難所運営は、「密閉された場所」「密集した場所」「密接した場面」が随所に生じ、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念がある。

「密閉された場所」・・・体育館や公民館など施設

「密集した場所」・・・避難所受付や物資配給場所、掲示板周り

「密接した場面」・・・避難所受付時や、体調確認の面談時

3 総合防災アプリ「静岡県防災」の概要

アプリは、2018年7月豪雨災害を教訓とし、緊急防災情報の伝達手段の多様化、地域の災害リスクの理解促進、非常時の適切な避難行動の支援を目的に、静岡県が無料で配信しているスマートフォン向け防災アプリ。

2019年6月に配信を開始し、ダウンロード数は2020年6月1日時点で11万5千件以上。

4 アプリの機能拡張内容

適切な避難行動を促す既存機能に、非接触型の避難所を運営するための機能を追加

既存機能	追加機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップ表示 ・避難先検索 ・危険度体験(A R) ・避難トレーニング ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ○住民等の個人情報入力機能 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎情報(氏名、性別、年齢等) ・要配慮者情報(持病、体調、妊婦等) ○入力された情報の検索、編集機能 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者の一覧作成 ・体調不良の避難者の把握(熱、せき等) 等

5 アプリの機能拡張スケジュール

7月	8月	9月	10月～	～3月
市町等へ 機能要件 照会	中旬 開発開始	開発	下旬～ テスト運用開始	機能調整
	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ説明会 調整 ・説明用リーフレット作成 ⇒自主防災組織等へのID付与 		<ul style="list-style-type: none"> 市町説明会 ⇒地震防災強化月間 ⇒12月地域防災訓練 	⇒津波旬間

6 アプリの機能拡張による効果

区分	現状（課題）	改修後				
受付	<p>受付付近が滞留するため、感染リスクが増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住所、氏名等の必要な情報を手書きで記入 ・避難所の受付で行列が発生 	<p>アプリに、避難者の個人情報を入力することで、滞留による感染リスクの回避</p> <p>⇒簡易な受付のため滞留（3密）の回避が可能となる</p>				
避難場所の振分け	<p>感染の疑いのある避難者の振分けを個人面談により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付時の面談人数と時間に感染リスクは比例 ・避難生活中も、個別面談により症状を確認してから対応 	<table border="1"> <tr> <td>受付時</td> <td> <p>アプリに体調等を事前に入力することで、面談時間を短縮し、専用エリアへの誘導判断も迅速化</p> <p>⇒感染の疑いがある避難者から、面談者及び他の避難者への感染リスクの低減</p> </td> </tr> <tr> <td>避難生活中</td> <td> <p>アプリに体調等を入力することで、面談によらず、体調を崩した人の早期発見</p> <p>⇒初期段階での把握により、集団感染の未然防止</p> </td> </tr> </table>	受付時	<p>アプリに体調等を事前に入力することで、面談時間を短縮し、専用エリアへの誘導判断も迅速化</p> <p>⇒感染の疑いがある避難者から、面談者及び他の避難者への感染リスクの低減</p>	避難生活中	<p>アプリに体調等を入力することで、面談によらず、体調を崩した人の早期発見</p> <p>⇒初期段階での把握により、集団感染の未然防止</p>
受付時	<p>アプリに体調等を事前に入力することで、面談時間を短縮し、専用エリアへの誘導判断も迅速化</p> <p>⇒感染の疑いがある避難者から、面談者及び他の避難者への感染リスクの低減</p>					
避難生活中	<p>アプリに体調等を入力することで、面談によらず、体調を崩した人の早期発見</p> <p>⇒初期段階での把握により、集団感染の未然防止</p>					
避難生活	<p>避難所内の掲示等による避難者への情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた場所への掲示による情報提供では、3密が発生 ・避難所以外の避難者への情報提供が困難 	<p>避難者のスマホに必要な情報を提供</p> <p>⇒アプリで確認できるため、3密の発生を防ぐ</p> <p>スマホを活用して、避難所以外の避難者（自宅、車中泊避難等）への情報提供</p> <p>⇒生活物資の配給等の必要な情報提供が可能</p>				

7 接触確認アプリの導入

静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」に、厚生労働省が配信する「接触確認アプリ」の利用を促す記載を表示するなどにより、防災アプリ利用者に接触アプリのダウンロードを促す。

接触確認アプリの利用者が陽性者との濃厚接触通知を受けた際には、通知を受けた者が避難所運営者に通知できる機能を追加する。

これにより避難所運営者が、受付及び避難生活において非接触での濃厚接触者の把握が可能となる。また、通知を受けた者は周りに気づかれることなく、避難所運営者の助力を得ることができる。

防災アプリ改修イメージ

避難所利用者事前登録機能



17:46 避難所利用者事前登録

利用者を登録してください。

氏名: **必須**

カナ氏名:

在住市町: 〒 検索

必須

避難: 有 無

必須

避難先: ●●小学校体育館

必須

避難予定: ○○分後

登録された情報は、個人情報を収集するものではありません。
避難所の準備のみに利用いたします。

同意する

世帯主(代表者)氏名・生年月日・性別・住所・連絡先・電話番号

避難・在宅避難・車中泊

体調に関する情報(体温・その他気になる点{咳き込み・倦怠感など 選択})

防災アプリ改修イメージ

本日の体調確認機能

